

社会福祉政策学特論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この講義では、社会福祉政策を含む社会保障政策の動向について、社会経済情勢の変化や政策理念の変化、さらには諸外国の政策動向を踏まえながら検討しつつ、今後の課題を抽出する。

【学修目標】

この講義では、社会福祉・社会保障政策の動向について、多角的に理解できる枠組みの修得を目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	社会福祉政策概念の基本的枠組み	分析枠組みの整理	志水
2	社会市場と社会保障	関連文献の講読	志水
3	社会保障と国民経済	関連文献の講読	志水
4	所得保障の経済的インパクト 生活保護と日本経済	生 関連文献の講読	志水
5	所得保障の経済的インパクト 働保と日本経済	労 関連文献の講読	志水
6	所得保障の経済的インパクト 金と日本経済	年 関連文献の講読	志水
7	社会サービスの経済的インパクト 医療と日本経済	関連文献の講読	志水
8	社会サービスの経済的インパクト 介護と日本経済	関連文献の講読	志水
9	社会サービスの経済的インパクト 福祉・教育政策と日本経済	関連文献の講読	志水 矢幅清司（特別講師）
10	社会保障の総需要拡大効果	関連文献の講読	志水
11	政策評価の基本的枠組み	関連文献の講読	志水
12	分析の視点 政策形成過程の評価	関連文献の講読	志水
13	分析の視点 政策実行過程の評価	関連文献の講読	志水
14	分析の視点 政策効果の評価	関連文献の講読	志水
15	政策科学の課題	全体の総括	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等については、適宜配布する。

【参考書】

Rossi PH, Lipsey MW, Freeman HE: EVALUATION-A Systematic Approach 7thed. SAGE Publications, Inc, 2004.

京極高宣：総合研究 現代日本経済分析1 社会保障と日本経済 「社会市場」の理論と実証・慶応義塾大学出版会，2007．

【学修の準備】

現代社会における社会福祉に係る政策的諸問題に関心を持ち、政治・経済・社会システムとの連関の中で問題の本質を鋭く読み取り、そこに内在する論点の明示化に向けた思考を常に意識すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(2026年度・大学院 看護福祉学研究科)

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。